

## 2015年11月度家計分析

**提出者数** 142名の提出がありました。提出率は78.9%です。前月より2名、前年より7名減でした。

**収入** 子育て支援金、児童手当、市臨時福祉金、私的年金などの臨時収入はありましたが、「給料(夫)(妻)」「自家営業(夫)」「パートアルバイト収入(夫)(妻)」「その他の収入」が前年を下回ったため総合の「実収入計」は前年比90.4%となりました。

**非消費支出** 「固定資産税」「健康保険(夫)」「国民保険(妻)」が昨年を上回りましたが、「非消費支出計」は前年比92.3%にとどまりました。

税金、社会保険  
私的保険

**消費支出** 総合の1位は「食費」、2位は「社会保険計」、3位は「教育費」となりました。「教育費」には大学の受験費用や授業料が含まれています。

50代の「その他」はお子さんの結婚式費用を支出された方があったためランクインしました。60代以上の「交際費」はお孫さんのお祝い、法事、歳暮などの支出が含まれています。「教養娯楽費」としてどの年代にも旅行代を計上された方がありましたが、60代以上の件数が最も多くなりました。60代以上では「水光熱費」の支出もランクインしました。

「継続は力なり」と言いますが、家計簿をつけ続けるためには自分の努力だけでなく家族の協力も必要な場合があります。まして家族のライフプランは家族みんなで考えるものです。家計簿をつけることは家族の記録をつけることであり、家計簿は過去を見ながら未来を考えるための道具（ツール）と言えるでしょう。ときどきは1年間の思い出の詰まった家計簿を読み返して、未来に備える力を養ってください。

### ランキング

	総合	20代~30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	食費 68,191	家地 54,509	食費 73,837	教育 73,576	食費 66,867	食費 64,764
2	社保 49,387	食費 53,993	社保 73,066	その他 72,800	交際 40,650	交際 42,376
3	教育 36,409	社保 51,812	教育 63,735	社保 72,533	教娯 38,306	教娯 38,484
4	税金 31,503	教育 37,498	家地 51,257	食費 69,543	社保 24,894	職主 21,176
5	職主 30,778	税金 32,210	税金 47,889	税金 49,734	職主 22,876	社保 21,146
6	教娯 28,580	私保 27,748	職主 31,769	職主 45,554	私保 21,434	私保 19,135
7	家地 27,461	職主 27,262	私保 27,695	家地 44,507	水光熱16,512	水光熱16,340

税金：税金計、社保：社会保険計、私保：私的保険計、家地：家賃地代、  
水光熱：水道光熱費、教娯：教養娯楽費、職主：職業主婦費